

平成24年8月28日  
復興教育支援事業

## 援助資源を生かす ソーシャルワーク

仙台白百合女子大学  
人間発達学科  
氏家靖浩  
【うじいえ・やすひろ】



## ソーシャルワークって何?

ある社会的な問題に対して

- ・その人の内面を調整  
→カウンセリングみたいな
- ・その人を取り囲む外堀を調整  
→制度や規則を変える  
→その人を動かす



## ソーシャルワークって何?

- ・ケースワークともいう
- ・社会福祉援助技術ともいう
- ・社会工作者という国もある

個人の内面と  
社会との折り合いを調整



## 学校ソーシャルワークって何?

- 学校や教育に関わる  
ソーシャルワークすべて
- ・教師がする?福祉士がする?
  - ・守備範囲は広い
  - ・アメリカでは訪問教師1906年



ソーシャルワークの基礎は  
教育相談

学校や教育で営まれる  
すべての相談活動

- ・授業の発想法に活かす
- ・同僚との向き合い方に活かす
- ・自分の生活に活かす



## 援助資源って何?

- ・情報
- ・人を助ける物ならなんでも
  - ・福祉とは限らない
  - ・守備範囲は広い
  - ・邪魔な資源もありうる



### ソーシャルワークって何?

スクールカウンセラーの活用

- ・SCとの連携をしようと努力する
- ・意識が高まる
- ・問題(の子ども?親?同僚?)がそこにいることが幸い……



### 教師が行うソーシャルワーク

- ・本来は、どこでも・いつでも
- ・すき間産業
- ・「ねっぱす」役割
- ・八方美人
- ・必殺 仕分け人



### 教師が行うソーシャルワーク

- ・「知識」は必要か?
- ・「同僚・上司・先輩」味方か敵か?



### 教師が行うソーシャルワーク

- ・自分で「理屈」を作り上げていく
- ・人間も動物
- ・勉強し過ぎない



### ソーシャルワークの基本原則

#### 第1原則

先生ご自身が  
舵取りをする



### ソーシャルワークの基本原則

#### 第2原則

子ども自身は自分を  
どう考えているか



ソーシャルワークの基本原則

### 第3原則

家族に思いをはせる



ソーシャルワークの基本原則

### 第4原則

人間は動物・生物  
であることに気づく



ソーシャルワークの基本原則

### 第5原則

本人を取り巻く人々  
の連携【学校の中】



ソーシャルワークの基本原則

### 第6原則

本人を取り巻く人々  
の連携【学校の外】



ソーシャルワークの基本原則

### 第7原則

どこをラストシーン  
にするか考える



ソーシャルワークの基本原則

### 第8原則

どんなことがあっても  
希望は捨てない



## ソーシャルワークの基本原則

## 第9原則

あつとつへの尊重



## ソーシャルワークの基本原則

## 第10原則

健全な

スティーカーになる



## どう関わるか

理解するのが難しい

と関わる者がひとりで

考えるのは間違いです

人間は常に複数の人々に

囲まれて生きるからです



## どう関わるか

理解するのが難しい

とみんなで感じあう

人間関係が理想です

特に立場や年代の

違う人たちで



## 理解ではなく誤解

理解するのが簡単

と感じる人間関係は寂しい・・・

「私の同僚は・・・」

「学校の先生というものは・・・」

「あの親は・・・」

「うちの校長は・・・」



## どう関わるか

理解するのが難しい

と感じる子どもに

複数の人々が時間をかけて

寄り添っていくプロセスが大切

これがソーシャルワーク



### どう関わるか

理解するのが難しい  
とを感じる子どもがいる家族・学校は  
チャンスであると考えられます  
話し合うきっかけができるから  
「危機」は「機会」です



### 気をつけたいこと

- ・子どもの立場不在の意見交換
- ・相手の立場を考えない  
    専門家同士の自慢話
- ・冷静さを欠いた感情の突出



### ソーシャルワークをする者の役割

児童生徒に対して..

ほどほどの的確な判断・評価と  
伴走者の役割を担い  
その子と短期間でも  
真正面から向き合えたら  
その子は幸せではないか



### 援助資源とソーシャルワーク

- (1) 他者に頼りっぱなしにはならない
- (2) 人とつながれるネタを持つ
- (3) 自分の得意領域を持つ
- (4) 依存と抱え込みのバランス
- (5) 開き直ることも必要  
    →失敗学も参考になる



### ひとこと...

折にふれて治し、  
しばしば慰め、  
いつもつねに気楽であること

教師はもちろん  
子どもたちにもご家族にも  
伝えておきたいメッセージ



### そろそろまとめに...

子どもと心のキャッチボールをしよう  
大切なのは相手の立場に立つこと

迷った時には...  
「笠地蔵」を思い出す

